三充士

レボリューション

閲覧用サイトはこちらから

※注意　閲覧専用のため、カードやポイントの保存はできません（途中で消去されます）。また、こちらからは、オープニング動画や組み分けルーレットを回すエリアには入れませんので、こちらの資料でご確認ください

守り人と仲間になって、
生き物が暮らしやすい
地球を取り戻そう。
自然の学びが、未来を変える力になる。



まずはここから！　ゲームの遊び方

会員証のQRコードを読み取ると、学びと冒険が始まります



会員証のQRコードからスタート



3つの入口から選べます

見つける

① いきものカードをつくる

自然で見つけた生き物を撮影 → AIでカード化
名前・生態系・レア度・すみか／日本語・英語

考える

② 三充士レボリューション

集めたカードで冒険
洞窟探検・環境問題解決・生態系マップづくり

行動する

③ ミニゲームで遊ぶ

神経衰弱やごみ分別ゲームで
今日から環境を考えた行動に取り組む

学習できる内容

自然

身近な生き物への
興味・関心を育てる

協力

水・土・風のチームで
協力してミッションに
挑戦する

発見

観察や体験から
新しい気づきを
見つける

環境問題

地域ごとの課題を知り
未来のために
考える

生態系

生き物のつながりや
自然のバランスを
理解する

英語

生き物の英語名や
自然に関する単語を
楽しく学ぶ



ストーリー

自然と共生する
未来を取り戻そう！

三充士から託された使命を胸に、

仲間といっしょに冒険の旅へ。

生き物を発見し、生態系を学び、

環境問題を解決して、

豊かな自然をふたたび取り戻す物語。



全体の流れ

①野外で
いきもの探し



②AIで
いきものカード作成



③オンライン
ゲーム開始



②水・土・風
チーム結成





⑩洞窟探検



④地域の
環境問題解決



⑦生態系
マップづくり



⑨豊かな自然を
取り戻す



野外での
いきもの探し

見つけた生き物を撮影すると
AIがすぐに判定。
名前や生態系レベル、レア度、
住処までわかるデジタルカードに。
日本語・英語を切り替えて
学習にも活用できます。



デジタルカードはオンラインゲームで使います

オンラインゲーム「三充士レボリューション」

オープニングムービー

冒険の始まりに、三充師登場！
仲間と力を合わせて自然を守る使命が
あなたに託されます。
弱った自然をよみがえらせて、
未来の地球を取り戻そう！



きみはどの充士になる？

プレイヤーは水、土、風の3つのいづれかの充士に選ばれ、それぞれの部屋に飛びます。チームで協力してミッションに取り組みます

組み分けのルーレット



水の充士の部屋





洞窟探検

伝説の洞窟にかくされたいきものたちを
見つけ出します
地域ごとに住む生き物の名前を知ることができます





地域の環境問題解決ゲーム

みつけたいきものを元の場所に戻すため、その場所で起きている自然破壊を解決して、いきものを住みやすくします

日本各地が舞台

北海道、京都などの自然を探検しよう

地域の課題に挑戦

森林減少、外来種問題、海洋ごみ、水質汚染など
さまざまな課題に取り組む

できることから新しい技術まで

課題解決のための行動・サービス・最新の技術を知ることができます



未来の環境を、
みんなで守ろう！



生態系を築く
陣取りゲーム





集めた生き物カードを使い
マップ上に**生態系**をつくります

住処や生態系レベルを考え
バランスを意識して配置

水・土・風チームで楽しく陣地を取り合いなが
ら生き物がたくさん暮らせる自然を目指します

戦略と協力で広がる学びが、
未来を守る力につながります。

保護者のみなさまへ

子どもたちが自然と共生する未来をつくる力を育むために

三充士レポリューションは、
自然観察とオンラインゲームを
組み合わせた環境学習プログラムです。

子どもたちは、

- 生き物を観察する力
- 生態系のつながりを理解する力
- 環境問題の解決策を考える力
- 仲間と協力する力
- 多様な地域の自然を理解する力
- Aa 英語で自然を学ぶ力

を楽しみながら身につけます。

また、水・土・風のチームに分かれ、
仲間と話し合い、互いの意見を尊重しながら、
協力して自然を再生する体験を通して、
これからの社会で必要となる

- **協働する力**
- **主体的に考える力**
- **自然と共生する力**



見つける。学ぶ。協力する。そして、未来の自然を守る。

当教材は、「令和8年度子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)」の助成によりNPO法人子ども環境ネットワークが作成しました。非営利目的の青少年教育活動で使用する場合、連絡をお願いします